

第2回 横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会 会議録	
日 時	令和4年10月21日(金) 13時～15時
開催場所	金沢区総合庁舎 5階1号会議室
出席者	<p>【委員】 赤江直美委員、浅葉弾委員、阿部きみえ委員、北原まどか委員、鈴木達洋委員、鈴木伸治委員長、津軽石昭彦委員、三輪律江委員、横井正巳委員 (9名中9名、委員は五十音順)</p> <p>【事務局】 金沢区副区長、金沢区区政推進課長、金沢区地域振興課長、文化観光局文化振興課、株式会社山手総合計画研究所 ほか関係職員</p>
欠席者	なし
開催形態	公開(傍聴者2名、報道1名)
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>第1回委員会での議論内容の確認</li> <li>基本的な方向性について</li> <li>答申構成案について</li> <li>金沢区区民文化センターニュース第2号(案)について</li> </ol>
決定事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>第1回委員会の議事録</li> <li>ニュース2号(案)</li> </ol>
議 事	<p><b>1 開会</b></p> <p>副区長 挨拶 本日は、委員の皆様方にはご多忙のところ、ご出席いただきましてありがとうございます(金沢副区長) うございます。第1回委員会においては、活発なご議論ありがとうございました。単なる貸館ではなく、金沢区らしい施設整備を目指していきたいと考えております。本日も活発なご議論を頂戴したく存じます。どうぞ、よろしくをお願いいたします。</p> <p>区政推進課長 本日の資料確認 (資料1・資料2・資料3・資料4)</p> <p><b>2 議事</b></p> <p>区政推進課長 まずは議事の1、<u>第1回委員会での議論内容の確認</u>について、事務局から資料の説明をします。</p> <p>事務局 <u>資料1</u>について説明</p> <p>鈴木委員長 いま説明いただいた<u>第1回委員会の振り返りと議事録案</u>については、ご自身の発言を中心にご確認いただき、修正が必要でしたらご発言ください。</p> <p>一 同 (意見なし)</p> <p>鈴木委員長 「第1回委員会の議事録」については、案のとおりと決定してよろしいでしょうか。</p> <p>一 同 (異議なし)</p> <p>鈴木委員長 それでは、運営要綱 第4条第2項の規定により、過半数の承認がありましたので、「第1回委員会の議事録」については、案のとおりで決定いたしま</p>

す。これは後日、区役所のウェブページで公表されます。

**鈴木委員長** それでは、議事の2 金沢区における区民文化センター整備の基本的な方向性について、に移ります。事務局から資料の説明をお願いします。

**事務局** **資料2**について説明

**鈴木委員長** いま説明いただいた基本的な方向性については、前回委員会の続きになります。前回は『重視する視点』については決めました。区民文化センターに『望ましい機能』『事業(施設)運営の方向性』については、前回意見交換したものを資料に反映させてもらっています。本日はこのふたつについては決めていき、金沢区における区民文化センター整備の基本的な方向性についてのコンセプト、めざす姿を決めていきたいと思います。

**鈴木委員長** 区民文化センターに『望ましい機能』について、議論に移ります。いかがでしょうか。

**鈴木(達)委員** 前回の議論で、区民文化センターは人が集まってくるとか、情報把握のハブ的な役割とかの話があった。具体的な提案まではどうか分からないが、ジオラマプロジェクトマップという仕掛けを鎌倉歴史文化交流館で見してきた。非常に面白い取組みだと感じた。例えば、金沢では六浦や切通し等の歴史、新田開発の歴史、別荘地としての歴史等、色々なコンテンツが作れるのではないかと。津波等の災害の歴史についても、ハザードマップにつなげて情報発信できるのではないかと。

金沢区を大枠で知りたい時に、あの場所にあんなのあったねと思い出してもらえるような仕掛けがあると良い。

また、イラスト・画像と人を認知するセンサーと組み合わせ、遊べるような仕掛けをやっている事例があるが、小さな子どもたちが夢中で遊べて、親世代への情報発信にもつながっていく。

**鈴木委員長** 具体的に提案いただいたが、歴史についての情報発信というイメージでしょうか。

**鈴木(達)委員** 過去から現代の文化までをイメージしている。金沢区に関する単純な案内機能も含めてです。

**赤江委員** P. 22 の修正版の表について、「望ましい機能」「想定されるスペース」は前回に比べて非常に整理されて見やすくなりました。

「重視する視点との関係」のところは、何のために区民文化センターができるのかという説明の意味では良いと思うが、例えば視点3のところだと、

「多彩な分野の文化・芸術」という表記となっている点が残念と感じました。

P. 20 には「多様な世代・多彩な分野の文化・芸術」とあって、前回の話の中

にもありましたが、ソーシャルインクルージョンの様な、多様な人々が参加する、参画するというようなことも視野に入れるべきで、その点が反映されるとよろしいかなと思いました。

また、今更になるが、P. 20 の視点 3 について「多様な世代」だけで良いのか疑問に思いました。業界等でもよく使う言葉は「多様な人々」であり、この方がよろしいのではないのでしょうか。検討いただければと思います。

**三輪委員** 構成の内容についての確認になるが、P. 22 の「重視する視点との関係」が何回も同じものが出てくる。考え方として、重視する視点があって、それに呼応した望ましい機能がでてきて、その機能として想定されるスペースがあつての運用だと思う。P. 22-24 の整理は、もう少し一体的に表現できないのか。概念的には、1 番左に視点 1～5 があつて、そこから望ましい機能に線が引かれて、それに対応して必要なスペース、それに関連した運用というように整理していかないと、機能や運用が何のために必要なのか分からなくなる。全体の横のストーリーが無いと、モノの設計や場を生み出すことのイメージがつかない。望ましい機能が先に出てきて、そこにスペースがくると、スペースと内容に物凄く固執してしまう印象を受けました。その辺の構成整理ができないか。

また、P. 22 でいきなり「音を出す発表や練習」が示されているが、各論過ぎるのかなという気がしている。1 番下の「文化・芸術の情報発信や交流」が全部にかかる重い内容であるため、重視する視点の整理のように、1 番大きく、全体に関わってくるところが最初に来て、細かい内容としてその下の順番で整理された方がしっくりくると思いました。

**浅葉委員** 機能に関しては、十分な機能があると感じました。その上でやはり、この開館後の企画をどう立てるか、どう運営していくかに、勝負が掛かっていると改めて感じました。これだけの機能があれば、ある程度のことはなんでもできるなと感じました。

その上で、先程鈴木(達)委員がおっしゃった、過去から現在、未来にまでを兼ね備えた紹介ができるようだといい。デジタルのお話は、チームラボの取組みですか。

**鈴木(達)委員** ゲーム用センサーが上に置いてあつて、プロジェクション投影した池に魚が泳いでいて、その魚を子どもが追いかけると逃げたりするような仕掛けがあつて、あまり広いスペースは多分取れないと思うが、壁面などに子どもを遊ばせる工夫ができたら面白いだろうなと感じました。

**浅葉委員** 面白そうですね。例えば、子どもが参加できるデジタルなゲーム感覚で体験できるコンテンツは、この辺ではあまりないので注目されるし、楽しいと思います。

**鈴木委員長** 細かいところまで現時点では議論できない部分もあるが、重視する視点1の部分について、必ずしも金沢区の文化芸術に限定されるものでなく、歴史や金沢区らしさまで広がった視点ですが、望ましい機能の中で「文化・芸術の情報発信や交流」という形で限定されているところに対してのご指摘と思う。  
書き方を改めるか、歴史など金沢区らしさの情報発信みたいな項目が別立てになるかというような方向性もあるのかなと思った。

**津軽石委員** 前回に比べて大分分かりやすくなっている。先程の三輪委員の話を受けて、P.21のイメージ図について、「望ましい機能」と「事業（施設）運営の方向性」が並列で並ぶよりは、一貫性をもって縦に並ぶような、縦軸関係になるのかなと思った。  
次の話にも関係あるが、上段の方向性から逆に見てみると、例えば、センター機能がどこに入るのか。それから、重視する視点の多様性の部分は、機能の中にどのように表現されるのか。前後の整合性をもう一度見直していただけると良いと思います。

**鈴木委員長** 基本的な方向性については、今回で全部決めきらなければいけないのか。次回で最終的な内容の確認というスケジュールか。

**区政推進課長** 今回の第2回までと考えておりました。この委員会で最終的に答申をいただき、それを受けて我々が基本構想をつくることとなりますので、その答申案の構成までを本日決めていただきたいと思います。  
そのため、項目の1つ1つはなるべく今回までに固めて、流れ等については答申の構成の方で生かしていければと思います。

**鈴木委員長** 事業（施設）運営の方向性についても、ご質問をいただければと思います。

**津軽石委員** 事業（施設）運営の方向性の☆1の2項目目「近隣の・・・」については、センター機能の内容だと思うので、本来は☆2に入るべき内容ではないか。  
また、センター機能の役割を担う場合には、指定管理のあり方等も最終的には関わってくる。例えば、区民文化センターに企画運営部門があって、公会堂の自主事業もやれるというように、関係施設が1つ運営形態になることが望ましいのかなと思うが、費用面も色々かかり、現実的にできるのであればそこまで踏み込んで書いた方が良いと思うが、その辺はどうお考えなのでしょう。

**区政推進課長** 各地区センターやコミュニティハウス等も含めた運営としてのセンター機能の役割を、区民文化センターが担うというのは、現時点の行政の考え方では、非常に難しいと思います。  
それぞれに事業担当者がいて、運営主体の壁はあるかもしれませんが、アウ

トリーチの場としてまずは利用しながら、交流を図っていくイメージを現時点では持っているところです。

**赤江委員** 私は県の施設にありますが、文化政策の上では、費用軽減やノウハウの共有など、普段からよく連携をやっている。この資料の連携は区の中で留まった連携を書かれているが、もう少し広く考えても良いのではないか。

☆2のセンター機能に書くのか分からないが、そういう視点でみると、4項目目の「文化活動団体と連携した」の文言は、「文化活動団体・他施設と連携した」にしても良いのではないか。

あと、新しい区民文化センターをつくるということは、他の文化施設をどうしていきたいのか合わせて考えていかなければならないと思っています。また、区民文化センターが出来た際に、長浜ホールや公会堂はどうしていくのか。そういう意味では、やはりハブ機能として、事業担当者がいて、そこを繋いでいくということは必要だと思います。

また、老朽化が必ず来るため、その際は一時閉館をしなければならない。その際に機能の補完という連携は必要だと思います。

**鈴木委員長** 具体的なご指摘をいただいて、おっしゃる意味からすると、☆3の2項目目の「専門的に支援できる」となっているが、施設間をつないでいくことも含めたコーディネーター人材となるのかもしれない。

**鈴木(達)委員** 区民文化祭は、公会堂と区役所の施設を中心に利用されているが、地区センターなどに広げてやられたらどうかと思っていました。また、公会堂の運用ルールでは、多目的室と会議室などで異なっていて、展示等で使う際には工夫が必要という議論を聞いた。また、ギャラリーが足りないという議論があるが、これも地区センターなどに広げるとか。また、長浜ホールも音楽をやる方には評判がいいが、交通手段が提供されていないとか、市大のホールの応募はファクスとなっていたり、その辺をこれからどうしていくかというところを総合的に取組んで、まず区民文化祭で具体的なところを示せたらいいと感じている。

**北原委員** 私の法人の方で、横浜北部4区の文化施設の連携・情報発信のお手伝いをさせていただいているが、非常に強く感じることで、自主企画は情報発信において一番力が入っていることです。

センター自体の魅力や価値、特徴付けという意味でも、自主企画はかなり大きな部分ではないかと思っています。資料では、その辺が割と下の方に書かれていて、センター機能、場や機能の提供、連携等が重視されているが、実は施設自体の魅力は自主事業によって培われるものだと思います。自主企画の置き方を検討していただくと良いと思いました。

**阿部委員** 区民文化センターは指定管理者制度で運営されると書いている。金沢公会堂を運営する相鉄の依頼で、公会堂の自主事業としてコンサートを開いたことがある。先日、自主事業をやりたいと公会堂に相談に行ったが、お金の関係で意見が合わず諦めかけたが、できることになった。ただし、基本の音響等以外の利用は、オペレーター等の料金が別に発生するとのことで、小さな団体としてはきついと感じた。

区民文化センターが指定管理者制度で運営されるのであれば、音響や照明等の専門家を置くことに対しての、区からの援助ができないのかと思っている。利用者の出費を増やさなければベストなものができないというような、その辺は少し配慮していただきたい。

金沢区には、いろいろな文化がありますので、公会堂と金沢区民の文化を担っている皆さんとで、色々相談できる場があつて、自主事業をもっと沢山開けたらいいなと思います。金沢公会堂に自主事業の数を聞いたら、かなり少なかった印象がある。

**鈴木委員長** ホールを持った指定管理の場合、専門的な人材の配置を求めることになっているのですか。

**区政推進課長** 区民文化センターにその機能があれば、指定管理者の募集の中にそういう記載を入れていくことになる。

**三輪委員** 今の一連の話を聞いて、P.22の「望ましい機能」について、例えば職員の方々が日常の延長線でちょっと打合せをするような会議室というのは事務室内には想定されてないが、それが実は大事だと私は思っている。例えば、フラッと地区センターに人が来て相談にのるような、事務スペース横にそういう窓口業務も兼ねている設えを設定しないと、単なる貸館の窓口を想定しているイメージになってしまう。

会議室という書き方がよいのかはわからないが、少なくとも「文化・芸術の情報発信や交流」のところや、歴史や金沢らしさの発信だったり、ハブ役としての情報の流通のための諸室みたいなものが、きちっと望ましい機能として位置付けられていないと、次の設計段階で、今皆さんが議論している内容がうまく回らないのではないかと思います。

また、専門人材の配置と人材育成についても、会議室はもちろん創作ワークショップも兼ねるが、小さくても指定管理者が専有できるスペースを確保した上で、情報の拠点となり得るような書き方を示しておいた方がいいのではないかと思います。

2点目で、前回の議論の中で、(地上)屋外スペースは、イベントが無くてもフラッと立ち寄れる設えが大事という議論をしていたが、屋外スペースはイベントをするためのスペースという書き方になっていて、通りすがりの人

の受け皿となる屋外スペースという書き方では、印象が全く異なる。現在の文言では、想定されるスペースが短絡的過ぎるため、情報発信だけじゃない、とまり木機能的なスペースが必要で、「望ましい機能」と「事業（施設）運営の方向性」が行き来できるような形の想定されるスペースの書き方が良いのではないかと思います。

**鈴木委員長** 私としても、カフェ的な、1人でもフラッと来られるような、ベビーカーを押しているお母さんが一人で来ても、そこに居場所が持てるような場所をイメージして前回お話していました。「望ましい機能」からダイレクトで想定されるスペースということで、かなり限定して書いてしまっている印象を受けました。前段の議論がスパッと抜け落ちている感じがするので、カフェの様な機能は、打合せスペース的な使い方もできるし、若干ギャラリー的な機能を兼ねる部分もあるだろうし、交流的な機能も持てる。先程の事務局の会議スペースは、空き時間があれば貸出し用としても兼ねられるというような、ある程度機能をオーバーラップさせていかないと、今回の場合は面積的な余裕もないので、その辺を読み取れるようにしておく必要があると思います。現在のままでは、答申をみて、設計提案する人達を読み取れなくなってしまう可能性があると思います。

**浅葉委員** 指定管理者制度について、契約期間の途中で審査を行って、その実績次第では指導などもできるのか。

**区政推進課長** 年度毎に検証はやっていきます。

**鈴木委員長** 私は他で指定管理者の委員会にも出ているのですが、年度毎に振り返りや評価を行って、ユーザーアンケート等も実施して、運営改善に反映させているところが多いです。多分、指定管理者を募集する際に、そういった取組を義務づける形になると思います。

**赤江委員** 指定管理者の立場からのお話になるが、私どもは県から5か年の指定管理の設定期間があり、4期継続しています。募集の際の仕様書に、その辺は記載されており、事業の見直しは1年間毎に行っています。年度協定書の中に課せられている評価は非常に重要で、自己評価・外部評価・県評価があり、厳しい目でみられています。

**鈴木委員長** 何らかの形で、ユーザーとの意見交換の場が設けられることが望ましいのかなと、それにはアンケートや協議会的なものなど、議論の余地はあると思います。

**赤江委員** 神奈川県民ホールでは、利用者懇談会というのをやっています。

**津軽石委員** 望ましい機能は、不足している部分があると思います。例えば、文化・芸術の情報発信や交流という、一括りにするだけではなく、事業（施設）運営の方向性にある、専門人材の配置とか、一人だけではなくて、団体そのもの、

あるいは地域の文化をレベルアップさせるというような、志しがあるのではないかなと思います。そのような機能がもう少し表現されていたら良いと思います。

あと、プロジェクションマッピング等の話も出たので、部屋の中の機能だけではなくて、外に発信するような、壁面を使った演出なども考え得るのかなと思いました。

また、区民との懇談会というような話があったが、交流だけでなく、利用者と共に育っていく施設、強化し合うような運用の方向性なのかもしれない。区民の意見を取り入れるような仕組みもあっていいのかなと思いました。

なお、「連携」という言葉は非常に曖昧な言葉で、もう少し具体的に書いた方が良いのではないかと。関連する会議体・連合体等の仕組みがあった方が、センター機能としての役割が果たせるのではないかと思います。

**北原委員** 事業（施設）運営の方向性に連携という言葉が4～5箇所使われている。使いやすい言葉は色んな意味に取られるので、どういう意味を持った連携なのか、具体性を持って言い換えられるとイメージがつくのではないかと思います。

**阿部委員** 先程の話で、利用者懇談会があると良いと思いました。旧金沢公会堂を子どもの頃から利用していたが、職員の方々の懇談会という機会はなかったと思いますので、是非、区民文化センターには提案したいです。

**鈴木委員長** 概ね意見が出揃ったように思います。私の方で方向性をまとめさせていただきます。

① 構成の見直し

「重視する視点」、「望ましい機能」、想定されるスペースが連携するようなまとめ方が出来ないか。

② 「望ましい機能」の修正

重複している部分や、視点1の金沢らしさを情報発信していく部分が想定されるスペースから抜け落ちているという指摘がありました。

屋外スペースについて、とまり木機能のような一人で来た方の受け皿となるような想定スペースについても省略し過ぎではないかという指摘がありました。

③ 「事業（施設）運営の方向性」の修正

連携が区内に限定されている。他の施設、区内外、県や市の枠組みを超えた他施設との連携というものもあるのではないかとご指摘も頂きました。



コーディネーターの役割について、文化事業やアートプロジェクトに限定されているが、施設間連携等も有るため、前段の1項目目と絡めて明確にしてはというご指摘がありました。

④ センター機能について

自主事業の位置付けについてのご指摘がありました。

⑤ 「連携」の文言について

具体的な連携を示してはどうかというご指摘がありました。

⑥ 管理のあり方について

利用者と共に作り上げていくようなイメージを入れていったらいいのではないかというご意見がありました。ユーザーとの意見交換など。

ほかにカフェ的な機能が漏れていると思う。

**三輪委員** P.25 のまとめられた図式中の事業(施設)運営の方向性にまとめられている文言は直されるという認識で良いか。なぜかという、1項目目の「金沢区

の特性を踏まえた区民文化センター」というのが、表現としておかしくないか、4つのタイトルが大事に扱われていくのであれば、P.23の☆と・の修正してもらって、大分内容が変わるだろうと思っています。

その辺について、あまり議論しなくて大丈夫なのでしょうか。例えば、センター機能としての役割の発揮も1～2つに分けた方がいいのかなど、専門人材の配置と人材育成についても、もう少しコーディネーター的な役割みたいなものが入ってきた方がいいのかなど、公共施設としての役割の発揮は☆1に近いような内容も入っている。この並びのヒエラルキーが分かりにくいなと思っています。

**区政推進課長** P.25 のコンセプトの部分は、今回の議論でいただいたご意見を踏まえて、修正するべきところは修正していきたいと思っております。

**鈴木委員長** P.25 は前段の議論を総括した表現となる認識で良いか。

**北原委員** 「街」「まち」の使い分けがあるのでしょうか。

**区政推進課長** 区民文化センターを議論する中で、ハードと人々の交流等のソフトも含めた表現としては平仮名の「まち」を用いており、駅前周辺等を指すハード的な場合には、漢字の「街」を用いている。

**鈴木(達)委員** 私どもの協会では、こんな施設をつくって欲しい等の意見があるが、この検討委員会ではあまりそのような意見は求めているのか。

**区政推進課長** 今回の基本構想検討委員会では、その議論の1番最初となる段階であり、まずはコンセプトや方向性等をご議論いただき、答申として横浜市にいただくこととなります。その中にはもちろんご意見をいただいて「望ましい機能」や「事業(施設)運営の方向性」を検討いたしますが、具体的な細かい施設

の議論というのはなかなか難しいと思います。

**鈴木委員長** コンセプトに「金沢区らしい、まちに開かれた」という文言は素晴らしいが、具体的に街に開くにはどうすればいいのかということが、前段の議論で見えにくくなっている気がします。例えば、屋外スペースをどうするかという点など、1階部分にどういう機能を持たせるのかが、街に開く具体的なことに繋がってくるので、その部分については、全体の構成の中で分かりにくいと思います。先程、ご指摘を整理した内容につけ加えて、街に開くことが分かるような構成に、特に1階部分をどうするのが読み取れるようなまとめ方をしていただければと思います。

**鈴木委員長** P.25までのところで、何か追加のご意見はありますか。

— 同 (特になし)

**鈴木委員長** それでは、次回までに構成・文言の見直しを進めることでよろしいか。

— 同 (異議なし)

**鈴木委員長** 前回委員会で決定した、重視する視点の3項目目については、「多様な世代」について「多様な人々」への文言修正について、ご了承いただけますでしょうか。

— 同 (異議なし)

**鈴木委員長** 次に、議事の3 答申の構成案についての議論に移ります。事務局から資料の説明をお願いします。

**事務局** 資料3について説明

**鈴木委員長** ご質問があればお願いします。最終的には横浜市に答申書として渡す構成案になります。いかがでしょうか。

**鈴木(達)委員** 答申には、部屋の広さ等は出さない形でまとめるのか。

**区政推進課長** 答申の段階ではそうなります。広さや定員等々については、設計の中で出てくるとは思いますが、その辺の規模感などは引き続き第3回目でご議論いただきたいと思います。

**阿部委員** 区でアンケートを実施していたと思いますが、音楽室が欲しいとか、具体的な要望があると思うが、その辺が第1・2回目の委員会では出てこなかったが、第3回目以降ではそのような意見も教えてもらえるのか。区民の意見も踏まえて議論できればと思っております。

**区政推進課長** 第1回目の委員会資料(5・6)で区民のご意見はお示しさせていただいて

おります。

**三輪委員** 答申の構成案の中には、前回第1回の資料で出てきた市民意見の結果については、参考資料あるいは答申第1章などに出てこないのか。

**区政推進課長** 今の段階では、入れる想定ではございません。区のホームページでアンケート結果を公開している状況です。

**三輪委員** 基本構想では、具体的なスペースが何㎡みたいのところまでは書き込まずに、これくらいの機能と諸室が必要だという整理をする必要があると思うが、もちろん委員会の元になった情報や資料があって、それを整理して、その上で、例えば、音楽多目的室とギャラリーが柔軟に連動していた方がいい、或いははっきり分かれていた方がいいというような話は、次の設計をする段階で、使い方のイメージとボリューム感までを、答申第3章で示す認識で良いでしょうか。

**区政推進課長** おっしゃる通りです。

**三輪委員** そうすると、アンケートは別紙ではなく、検討のネタとしてちゃんと整理して、構成の中に入れてもいいのではないかと思います。いわゆる根拠です。

**鈴木(達)委員** 規模とかは示さないのか。例えば、何人程度入れるのかとか、我々の協会では色々意見が挙がってきているが、基本構想ではあまりしないということではよいか。

**区政推進課長** 全くボリュームを語らずに必要諸室を議論することは不可能なので、全く載せない訳ではない。ただし、具体的に何㎡とは示せません。

**津軽石委員** 区民の意見については、なぜ区民文化センターが必要なのかという説明には重要であると思います。

基本構想は Plan do のちょっと手前ぐらいまでを書いていて、check action の様な、評価して改善して、区民と共に育てていくんだというようなコンセプトが最後にあってもいいのではないかと思います。

**鈴木委員長** 大きく考えると、音楽多目的室とギャラリーが中心的な機能になるので、どちらを主に考えるべきかを示さないと、設計者も設計できないのではないかと思います。例えば、建築計画的に、音楽多目的室でホール的な設えとする場合は、その舞台と同等の練習室が無いと機能しない。そう考えると、大体何人規模ぐらいのというのは、方向性として示した方がいいのではないかと思います。何人規模というのは正直難しいと思うが、ある程度の規模感みたいなものは、望ましいという形でも示しておいた方が良いでしょうか。

**区政推進課長** 実際に、あの土地の中にどれくらいの施設が建築可能かは検討しており、可

	<p>能なスペースもかなり限られています。その中で、部屋の設定等について、細かく数字まで示すのは難しいと思います。考える元となる規模感は、次回の委員会までに示したいと思います。</p> <p><b>鈴木委員長</b> 全く数字を抜きにして議論してもイメージが共有できないので、最終的に数字を入れるかどうかは別として、大体のイメージを共有した上で議論したら良いのではないかと思います。</p> <p><b>鈴木委員長</b> その他、よろしいでしょうか。</p> <p>一 同 (意見なし)</p> <p><b>鈴木委員長</b> それでは、今回示された構成を最終的なイメージとして、議論していきたいと思います。最終的な取りまとめについては、次回委員会でまとめるということで、答申の構成案についてご了承頂けますでしょうか。</p> <p>一 同 (異議なし)</p> <p><b>鈴木委員長</b> 続いて、議事の4に移ります。事務局から資料の説明をお願いします。</p> <p><b>事務局</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料4</span>について説明</p> <p><b>鈴木委員長</b> 何かご意見等ございますでしょうか。</p> <p>一 同 (意見無し)</p> <p><b>鈴木委員長</b> それでは、金沢区区民文化センターニュース第2号案については、案のとおり、決めてよろしいでしょうか。</p> <p>一 同 (異議なし)</p> <p><b>鈴木委員長</b> 本日の議事はすべて終了しました。事務局におかれましては本日の意見を取りまとめていただき、次回の委員会でお示しいただければと思います。それでは、進行を事務局にお返しします。</p> <p><b>区政推進課長</b> 本日は活発なご議論を賜りまして、ありがとうございます。本日頂戴しましたご意見を取りまとめ、次回の委員会にてお示しいたします。これにて本日の委員会は終了とさせていただきます。本日はお忙しい中、長時間に渡り誠にありがとうございました。</p> <p><b>閉会</b></p>
<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特記事項</p>	<p>1 資料</p> <p>資料1 第1回委員会での議論内容の確認</p> <p>資料2 金沢区における区民文化センター整備の基本的な方向性について</p>

	<p>資料3 答申構成案について</p> <p>資料4 金沢区区民文化センターニュース 第2号(案)</p> <p>2 特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・次回 日時：令和4年11月14日(月) 13時から 場所：金沢区総合庁舎5階1号会議室</li></ul>
--	---